脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」（第32回）

インシデントに印紙で対応

2020.09.23

ITの勉強を始めてもつい三日坊主になってしまう難解なIT用語。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、情報セキュリティ対策でよく耳にする「インシデント」だ。

「社長、サイバー攻撃が増えているので、インシデントに備えて社内訓練をしませんか」（総務兼IT担当者）

「何、印紙？印紙と訓練にどんな関係があるんだ。収入印紙の貼り方でも練習するのかね」（社長）

「違いますよ。領収書などに貼る印紙ではなく、セキュリティの事故のことです。パソコンがウイルスに感染して重要な情報が盗まれたりするような出来事をインシデントというんです。インシデントが起きたときの対処方法を訓練したいのです」

「感心な心掛けだ。防災訓練を増やすのだな。よし、思い立ったらすぐ行動。今から防災訓練するぞ！」

「その訓練ではないのですが……」

パソコンのウイルス感染もインシデント

情報セキュリティの場合、パソコンやシステムなどの安全を「危うく」するような出来事をインシデントと呼びます。例えば、コロナ禍で在宅勤務になり、セキュリティ対策が不十分な社員のパソコンがウイルスに感染した場合、「パソコンにインシデントが発生した」といいます。

ちなみに、社内にウイルスが入り込んだ場合、感染の原因となるパソコンの特定や、どこまで感染が広がっているかの影響範囲の調査など、事後対応を「インシデント対応」と呼びます。

社内のパソコンがウイルス感染。インシデント発生！

Q インシデントとはどういう意味でしょうか… 続きを読む